



## 大学図書館研究会東京地域グループニュースレター

<https://www.daitoken.com/tokyo/>  
第 259 号 2023 (令和 5) 年 6 月発行

### 目 次

1. 2023/2024 年度東京地域グループ総会のお知らせ----- 1
2. 2022/2023 年度第 8 回・第 9 回 (5 月~6 月) 東京地域グループ運営委員会記録----- 1
3. 2022/2023 年度東京地域グループ例会参加報告----- 2

### 2023/2024 年度東京地域グループ総会のお知らせ

以下のとおり、2023/2024 年度東京地域グループ総会を開催いたします。ご参加をお待ちしております。

- ・日時：2023 年 7 月 22 日 (土) 10:00-11:00 (情報交換会 11:00-12:00)
- ・会場：銀座ルノアール貸会議室マイ・スペース新宿 3 丁目ビッグビル店 7 号室
- ・参加費：無料
- ・申込方法：次のウェブフォームからお申し込みください。<https://forms.gle/2jM2RspJ6aMYyTS2A>
- ・申込切：7 月 20 日 (木) までにお申し込みください。
- ・東京地域グループ総会、情報交換会ともに、東京地域グループ会員のみ参加可能です。
- ・情報交換会は、大学図書館に関する情報交換の場としてご活用ください。
- ・議案について

同封の「総会議案」をご確認ください。東京地域グループウェブサイトからダウンロードも可能です。

<https://www.daitoken.com/tokyo/operation.html>



\*\*\*\*\*  
今回のニュースレターは重要なお知らせ (総会のご案内) のため、  
電子化切替を希望された方も含め **全員** にお送りしております。  
\*\*\*\*\*

### 2022/2023 年度第 8 回・第 9 回 (5 月~6 月) 東京地域グループ運営委員会記録

下記のとおり、東京地域グループ運営委員会を開催いたしました。

#### 第 8 回

日時：2023 年 5 月 16 日 (火) 20:10-21:00

#### 第 9 回

日時：2023 年 6 月 20 日 (火) 20:00-20:45

東京地域グループ運営委員会の議事内容の詳細は、  
東京地域グループウェブサイトにおいて公開しています。



## 2022/2023 年度東京地域グループ例会参加報告

2022/2023 年度第 1 回東京地域グループ例会「オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方について（審議のまとめ）」を読んでもらう会 参加報告

2023 年 3 月に文部科学省のオープンサイエンス時代における大学図書館の在り方検討部会によって公開された「オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方について（審議のまとめ）」を読んでもらう会に参加させていただいた。参加者は 12 名ほどで、東京地域以外からの参加もあったとのこと。和やかな雰囲気でも各自が感想を出し合った。

初めに導入として、概要 3 点目の「大学図書館職員も分野ごとのデータの取扱いや特性の違いを理解する知識までも求められるようになってきている」という点について、大学図書館職員にここまで求められることに驚いたといった声が複数上がった。また、「大学全体に研究データポリシーがあり、それを基に部局ごとにポリシーを策定せよとの話があり、図書館が取りまとめを担うにあたって教員主導とはいえ、各部局の関連データについて大学図書館職員も話分かる程度でなければいけないのではないかということだと考えている」との声もあった。加えて、研究推進の部局と図書館の所掌があいまいになっているという声も複数上がった。また、研究データポリシーについて急がなくてはいけない理由として、海外で研究してそのデータを日本に持ち帰るときに、ポリシーがないと持ち出せないということが挙げられるとの声もあり、私自身も大変勉強になった。

次に、「オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方」について、デジタル資料をとりまく人的資源の厳しさや他機関（公共図書館等）資料の兼ね合い、他機関（国文研等）とのデジタル資料作成に係る協力等が話題にのぼった。

続いてオンライン学習支援について情報共有がなされた。オンライン授業用のブースを設けた図書館がある一方で、明確な支援のタイミングを逃した図書館もあったようだ。

また、デジタルライブラリーについて、物理的な場が不要になることはないと言われていたが、やはり物理的な場がなくなるのではないかなどと懸念する声などが上がった。求められる人材や連携についても、国私公の区分を超えて人的交流ができれば大規模館で育てた人材を中小規模館へ戻すことができるのではないかといった意見や、コンソーシアムを組んだ場合の給与等の出どころはどうなるのかといった声、JUSTICE が 1 つのロールモデルとなるという意見などがあつた。

1 時間では深掘りできないので、同様の会をもっと開催してもよいのではないかという意見も出るなど議論が尽きなかった。委員の皆様も貴重な機会をいただき、また、大図研に入ったばかりで右も左も分からない中、優しく接して下さった参加者の皆様に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

（横浜国立大学附属図書館 目谷史秋）

フォローして下さると  
嬉しいです。

Twitter  
@dtk\_tokyo



『d-tokyo: 大学図書館問題研究会東京地域グループニュースレター』

第 259 号, 2023 年 6 月

事務局：〒252-0001 神奈川県座間市相模が丘 1-29-10-401 下山朋幸 気付

東京地域グループメールアドレス：tokyo@daitoken.com

東京地域グループ運営委員会編集担当：山口友里子

※ニュースレター電子化切替ご希望の方は、上記アドレスまでご連絡ください。

Google フォームからも申請できます。→

